

これからの 大学入試

大学入試センター試験の実施を前に



ひとりひとりの未来のために。

受験生それぞれの個性や適性、
能力を大切にする新たな入試制度へ。
大学入試センター試験がスタートします。

大学入試改善は不断の努力。

大学入学者の選抜については、これまでも数多くの改革や改善が積み重ねられてきました。昭和54年度から導入された共通第1次学力試験も、もちろんそのひとつです。国公立大学が共同で実施したこの試験では、「高等学校教育に沿った適切な出題で、難問や奇問がなくなった」あるいは「各国公立大学が行う第2次試験との組み合わせにより、総合的な判定が可能になった」など、各方面から積極的な評価を受けました。また、各大学の第2次試験においても、面接、小論文、実技検査を取り入れる大学が増えるなど、さまざまな点で入試制度の改善が進みました。

これまでの批判に应运。

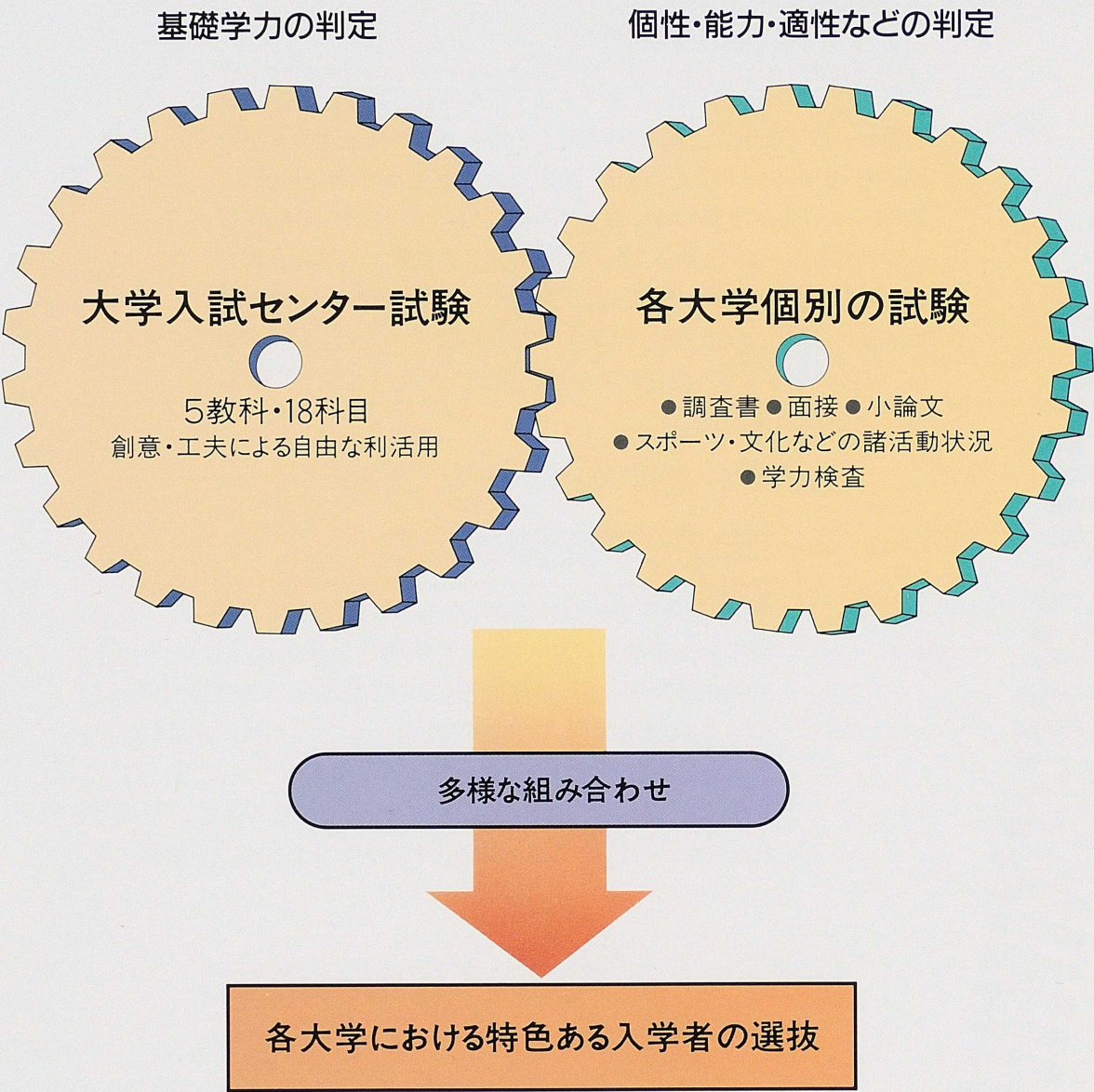
多くの成果を挙げた共通第1次学力試験ですが、一方では、国公立大学の改善努力にもかかわらず、情報化社会の進展によって大学の序列化の顕在化や、高等学校における進学指導の偏差値偏重といった、さまざまな問題点も指摘されました。こうした状況を踏まえ、その利用方法を各大学の判断と創意工夫に委ねるとともに、国公立だけでなく私立の大学も含めて、より広い視野で改善を進めようと構想されたのが、平成2年度から実施される大学入試センター試験です。

入試の多様化をめざして。

大学入試については、高等学校の段階における受験生の幅広い人間形成に十分配慮して、学力のみに偏らず多様な尺度で入学選抜を実施することや、学力の中でも受験生の得意な分野を評価するなど、受験生の個性・能力・適性を多面的に判定して入学選抜を行う方向が求められています。各大学がそれぞれ入試改革に積極的に取り組むことが期待されています。

大学入試センター試験

各大学の入試をサポート。

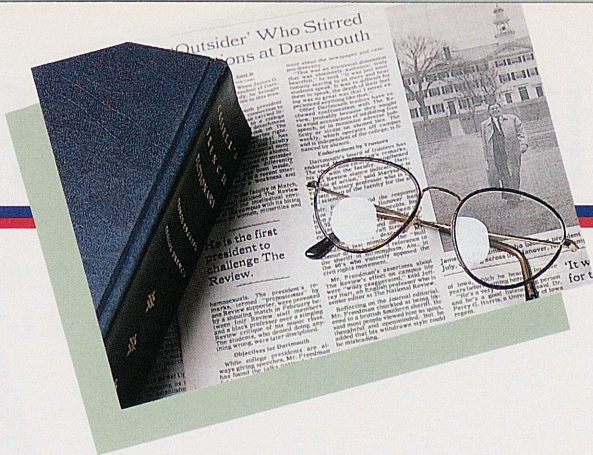


大学入試センター試験は、各大学の入試をお手伝いします。

大学入学者選抜の具体的な在り方は、各大学における自主的な検討に待つべきものです。大学入試センター試験は、このことを前提として、各大学がそれぞれの判断と創意工夫に基づいて、この試験の成績を適切に利用していただくことにより、大学教育を受けるにふさわしい能力・適性等を多面的に判定するために、役立てていただくものです。

各大学それぞれの特色をいかした多様な活用が基本です。

大学入試センター試験は、1教科や1科目だけの利用も、もちろん可能です。また、面接や小論文などの多様な組み合わせによって各大学の特色を出し、いわゆる輪切りや序列化を助長しないことも期待されています。



〈大学入試センター試験の出題教科・科目等〉

- 国・公・私立、すべての大学が利用できる学力試験です。
- 高等学校教育に沿って良質な試験問題を用意します。
- 出題科目は各大学が利用しやすいよう工夫されています。

期 日	教科・科目	時間・配点	出題方法等	科目選択の方法
平成2年 1月13日 (土)	理科（A） 「物理」 「地学」	10:00～ 11:00 (100点)	物理、地学の出題には、理科Ⅰに含まれるそれぞれの関連内容を含む。	2科目のうちから1科目を選択・解答
	外国語 「英語Ⅰ・Ⅱ」 「ドイツ語」 「フランス語」	12:10～ 13:30 (200点)		3科目のうちから1科目を選択・解答
	数学（A） 「数学Ⅰ」	14:20～ 15:20 (100点)		
	数学（B） 「数学Ⅱ」 「工業数理」 「簿記会計Ⅰ・Ⅱ」	16:10～ 17:10 (100点)	数学Ⅱの電子計算機と流れ図は出題範囲から除く。 数学Ⅱについては、数学Ⅱを履修した者並びに代数・幾何、基礎解析及び確率・統計のうち2科目以上を履修した者のいずれにも対応した出題とする。 簿記会計Ⅱは、前半の内容を出題範囲とする。	3科目のうちから1科目を選択・解答
1月14日 (日)	理科（B） 「化学」 「理科Ⅰ」	10:00～ 11:00 (100点)	化学の出題には、理科Ⅰに含まれる関連内容を含む。	2科目のうちから1科目を選択・解答
	国語Ⅰ・Ⅱ	12:10～ 13:30 (200点)		
	社会 「倫理、政治・経済」 「日本史」 「世界史」 「地理」 「現代社会」	14:20～ 15:20 (100点)		5科目のうちから1科目を選択・解答
	理科（C） 「生物」	16:10～ 17:10 (100点)	生物の出題には、理科Ⅰに含まれる関連内容を含む。	

平成2年度大学入学者選抜において、大学入試センター試験を利用する大学を志願する受験生は、上表の期日に実施される大学入試センター

試験において、上表の出題教科・科目の中から、入学を志望する大学が入学者選抜に利用すると指定した教科・科目を受験することになります。



目的に応じて、利用法はさまざま。

これらの利用方法は、入学定員の全てに使うことはもちろん、
入学定員の一部についてのみに、使うこともできます。

■全教科の総合的な利用

基礎的・基本的な学力を幅広く評価する
ため、たとえば5教科5科目程度を総合
的に利用することが考えられます。

■特定教科に限っての利用

大学学部それぞれの特色に合わせて、
5教科18科目のうち特定の教科又は科目
を選んで利用することができます。

■受験者の選択で センター試験の成績利用

大学が指定した大学入試センター試験
の特定教科(科目)の成績又は大学の個
別の学力検査の成績のいずれか高い得
点を得ている教科(科目)を選抜に利用す
る方法もあります。

■推薦入学などの資料に利用

推薦入学やスポーツ・文化活動などの評
価による判定に際しての参考資料として、
大学入試センター試験を利用する方法
も考えられます。

〈大学入試センター試験を利用する大学〉

■国立大学

北海道大学
北海道教育大学
室蘭工業大学
小樽商科大学
帯広畜産大学
旭川医科大学
北見工業大学
弘前大学
岩手大学
東北大学
宮城教育大学
秋田大学
山形大学
福島大学
茨城大学
図書館情報大学
筑波大学
群馬大学
群馬大学
埼玉大学
千葉大学
東京大学
東京医科歯科大学
東京外国語大学
東京芸芸大学
東京農工大学
東京芸芸大学
東京工業大学
東京商船大学
東京水産大学
お茶の水女子大学
電気通信大学
一橋大学
横浜国立大学
新潟大学
長岡技術科学大学
上越教育大学
富山大学
富山医科薬科大学
金沢大学
福井大学
福井医科大学
山梨大学
山梨医科大学
信州大学
岐阜大学
静岡大学
浜松医科大学

名古屋大学
愛知教育大学
名古屋工業大学
豊橋技術科学大学
三重大学
滋賀大学
滋賀医科大学
京都大学
京都教育大学
京都工芸繊維大学
大阪大学
大阪外国語大学
大阪教育大学
兵庫教育大学
神戸大学
神戸商船大学
奈良教育大学
奈良女子大学
和歌山大学
鳥根大学
鳥根医科大学
岡山大学
広島大学
山口大学
徳島大学
鳴門教育大学
香川大学
香川医科大学
愛媛大学
高知大学
高知医科大学
福岡教育大学
九州大学
九州芸術工科大学
九州工業大学
佐賀大学
佐賀医科大学
長崎大学
熊本大学
大分大学
大分医科大学
宮崎大学
宮崎医科大学
鹿児島大学
鹿児島体育大学
琉球大学

■公立大学

釧路公立大学
札幌医科大学
福島県立医科大学
群馬県立女子大学
高崎経済大学
東京都立大学
東京都立科学技術大学
横浜市立大学
金沢美術工芸大学
都留文科大学
岐阜薬科大学
静岡県立大学
愛知県立大学
愛知県立芸術大学
名古屋市立大学
京都市立芸術大学
京都府立大学
京都府立医科大学
大阪女子大学
大阪市立大学
大阪府立大学
神戸市外国語大学
神戸商科大学
姫路工業大学
奈良県立医科大学
和歌山県立医科大学
広島女子大学
広島県立大学
下関市立大学
山口女子大学
高知女子大学
北九州大学
九州歯科大学
福岡女子大学
長崎県立国際経済大学
熊本女子大学
沖縄県立芸術大学

■私立大学

八戸大学
商学部
足利工業大学
工学部
白鷺大学
経営学部
桜美林大学
文学部
国際学部
慶応義塾大学
法学部
医学部
昭和女子大学
文学部
東京理科大学
基礎工学部
東邦大学
理学部
日本歯科大学
歯学部
新潟歯学部
武蔵工業大学
工学部
福井工業大学
工学部
愛知工業大学
工学部第1部
松阪大学
政治経済学部
松蔭女子学院大学
文学部
流通科学大学
商学部
産業医科大学
医学部

共同して、円滑に。

大学入試センター試験は、各大学が共同で実施します。

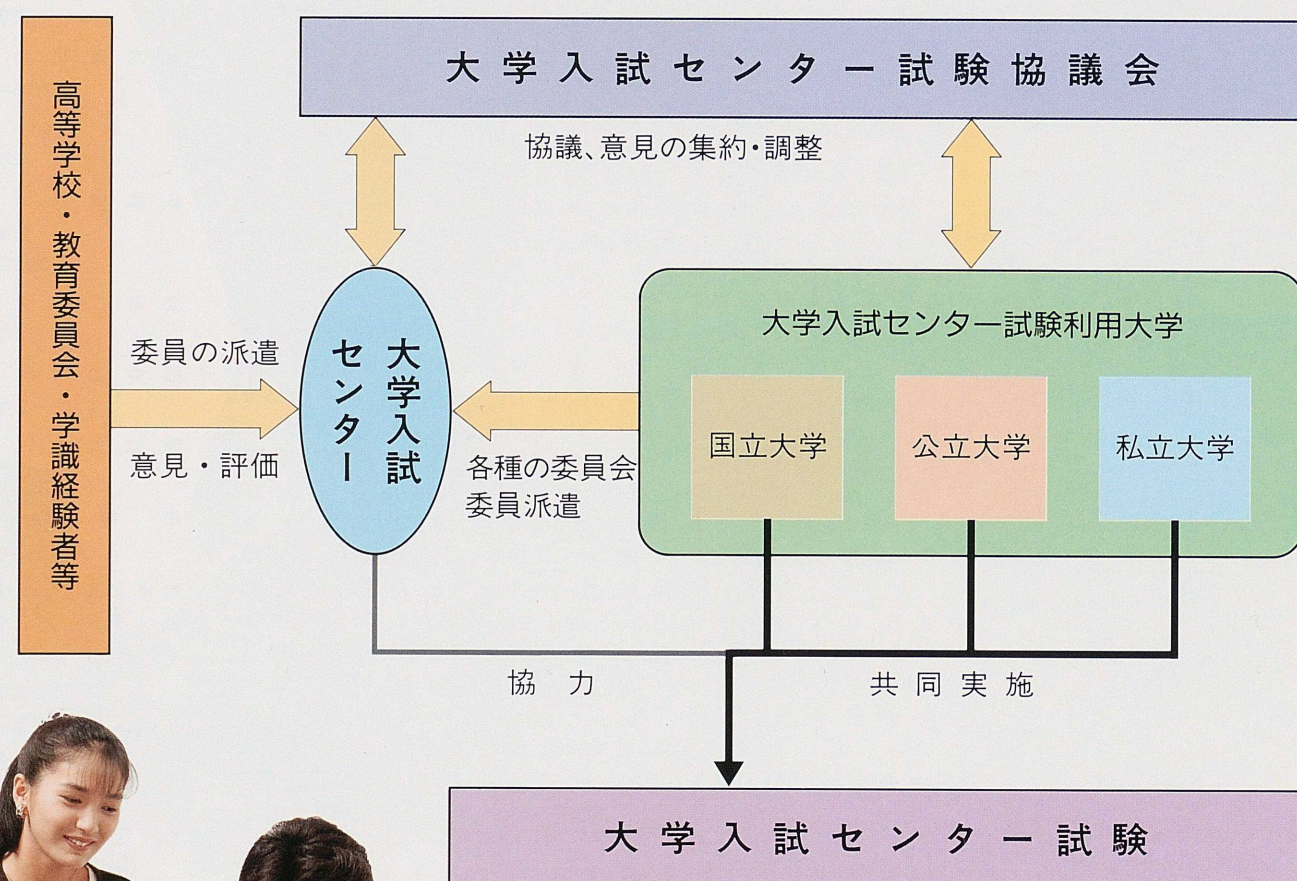
大学入試センター試験は、この試験を利用する国・公・私立大学が大学入試センターと協力して、大学入学者選抜の一部として共同して実施します。

また、この試験の実施に関しては、国・公・私立大学間で、その改善・充実や意見の集約調整を行う協議機関として**大学入試センター試験協議会**が置かれており、この試験実施の重要事項については、この協議会で協議・決定されます。

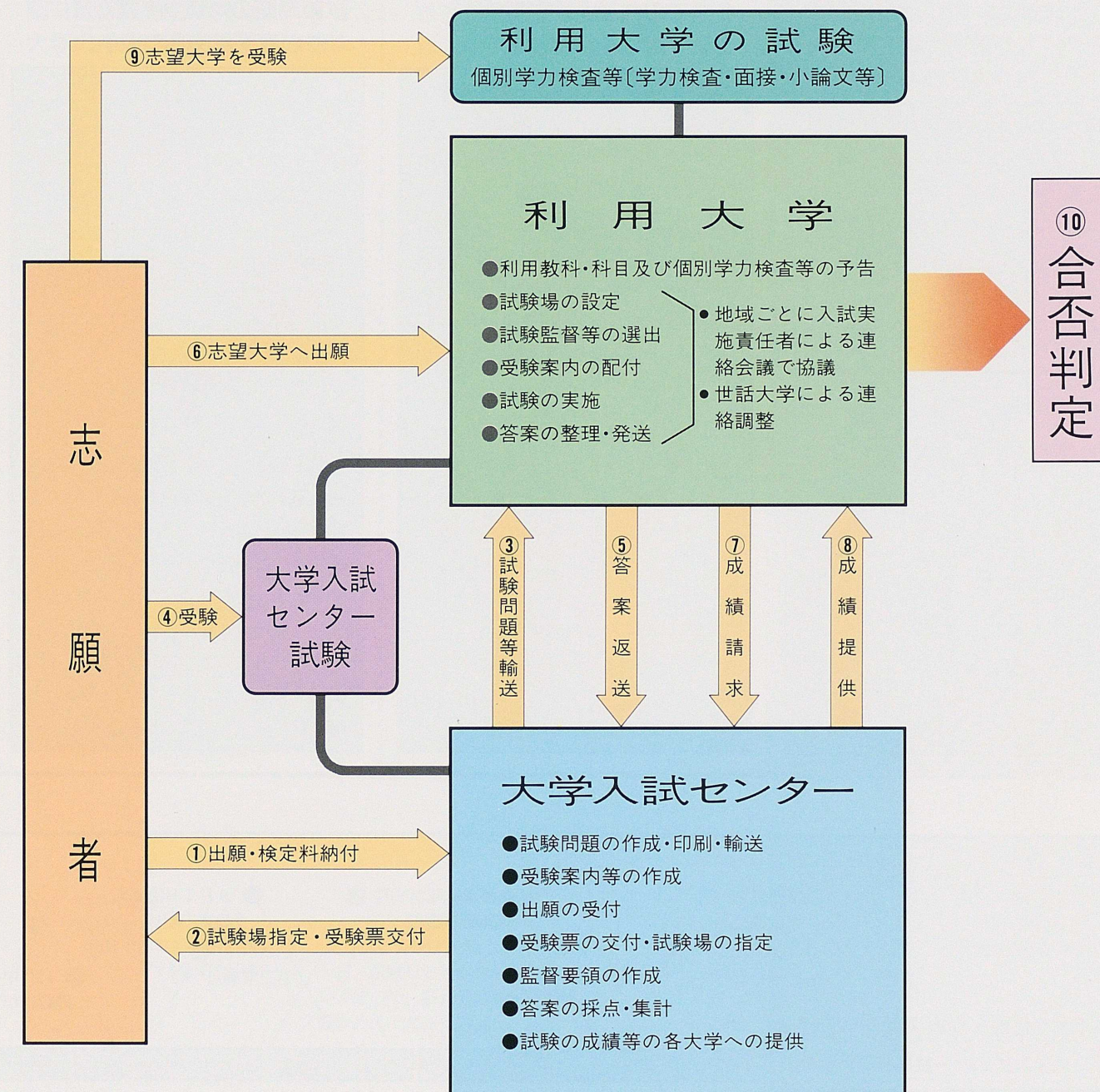
大学入試センターの運営については各方面から幅広く意見を取り入れます。

大学入試センターは、この試験の実施に当たって試験問題の作成・印刷、答案の採点、集計など一括して処理することが適当な業務を担当しますが、大学入試センターの運営に関しては国・公・私立大学関係者のほか高等学校関係者、学識経験者等で構成する各種委員会が置かれています。また試験問題の作成は、国・公・私立の大学の教員により行われ、試験実施及び問題の評価については学識経験者、高等学校関係者からの意見・評価を受けることになります。

▶ 大学入試センター試験の運営



▶ 大学入試センター試験の仕組み〜出願から合否判定まで



◎ 検定料／2教科以下8,000円 3教科以上12,000円

◎ 出願方法／高校卒業見込者は在学高校経由。高校卒業者は直接郵送。

◎ 試験場／原則として——高校卒業見込者は在学高校が所在する試験地区内の試験場。
高校卒業者は居住する試験地区内の試験場。

◎ 平成2年度利用大学／国立大学 95大学(全大学) 公立大学 37大学(全大学)
私立大学 16大学19学部



大学入試センター試験

Q&A

今までの共通1次試験とどこが違うのですか。

大学入試センター試験は、国公立大学のみならず、私立大学も参加して、各大学がそれぞれの判断と創意工夫に基づいて、適切な利活用をすることにより、受験生の個性、能力、適性を多面的に評価し、个性的で特色ある選抜の実現を目指すものです。このような観点から、出題教科・科目数を増やしたり、試験時間割を工夫するなどの措置がとられています。



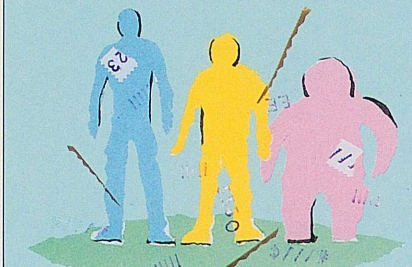
試験問題の内容や出題方法になにか変更はありますか。



大学入試センター試験の試験問題は、共通第1次学力試験の経験や研究の成果を十分に活かし、高等学校における基礎的な学習の達成の程度を評価することを基本としています。このため高等学校学習指導要領に準拠して出題することとされており、高等学校教育への影響も考慮して、できるだけ多くの出題教科・科目を用意しています。

画一的な試験の実施は大学の序列化を助長するものではありませんか。

大学入試の改善は、それぞれの大学が創意工夫に基づいて自主的に進めていくべきものです。そこでは、各大学が実技・面接・小論文・学力試験など、様々な資料を適切に組み合わせ、受験生の能力・適性等を多面的に判断していくことが求められています。そのお手伝いをするのが大学入試センター試験なのです。各大学がこの試験の成績を様々な方法で利用することにより、いわゆる輪切り、序列化を助長しないことが期待されています。



各受験生の成績はどのように扱われるのですか。



受験生の答えは、大学入試センターが一括して採点します。その成績は、受験生が出願した大学からの請求に基づき、その大学に対してのみ提供することとなり、その他に対しては提供しません。受験生に対しては試験終了後に正解と配点を報道機関を通じて発表しますが、平均点・最高点・最低点等の結果の発表は、4月頃となります。

大学入試センター試験の詳しい資料や情報はどこで入手できますか。

平成2年度の大学入試センター試験の志願票等を折り込んだ「受験案内」は、9月1日(金)から、この試験を利用する各大学において配付することになっています。大学入試センターにおいては、いつでもお問い合わせにお答えしますので、下記の電話番号お気軽にご相談ください。

大学入試センター事業第一課 03-465-8600
(平日9時30分～17時、土曜日9時30分～12時)

また大学入試センターは、大学進学案内の情報をキャプテンシステムを通じて提供しています。

この「ハートシステム」でも詳しい情報を引き出すことができます。ハート情報センターの番号は、次のとおりです。

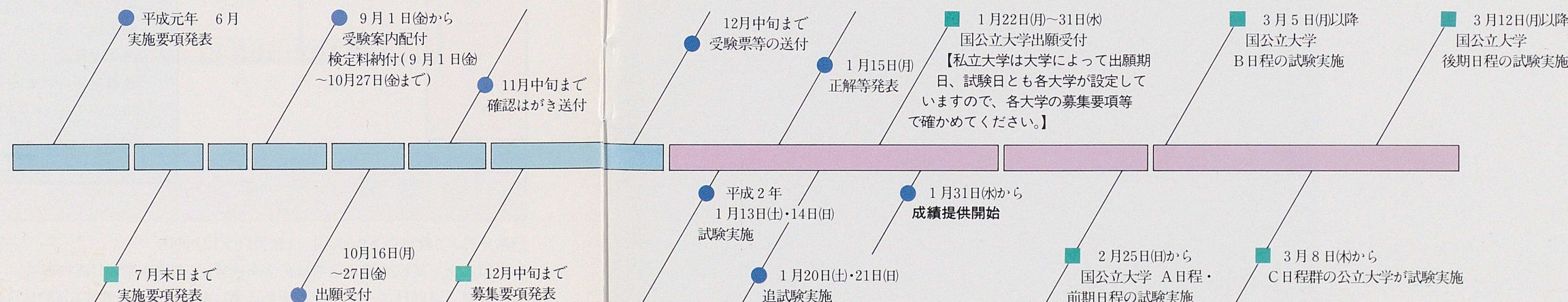
166-36155



平成2年度入学者選抜実施日程 大学入試センター試験利用大学

SCHEDULE

- 大学入試センター試験
- 各大学が実施する試験



(注) 国公立大学の実施日程は、上記日程と一部異なる場合があるので、各大学の募集要項等で確かめてください。



文部省

大学入試センター

〒153 東京都目黒区駒場2丁目19番23号

☎03-468-3311(代)

平成元年6月発行